

中間評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会 平成21年10月9日(金)

研究課題	野生動物による被害の防除に関する研究	
研究期間	平成20年度～21年度	
	評価項目	平均点
	研究の進捗状況	3.2
	研究内容の妥当性	3.2
	目的達成の可能性	3.2
	期待される研究成果	3.2
	研究継続の必要性	2.8
	総合評点	2.8
<p>鳥獣による農林漁業被害は全国的な緊急課題であり、その効果的対策の確立・応用が期待される。本研究では、カワウにおけるドライアイス法の効果、サル用電気柵やモンキードックの効果などについて、生態調査も含めた検討により一定の成果が上がった。特にカワウの成果は対策法も含め一段と優れた評価に値する。一方、カワウ以外の野生動物については、研究方法の面からも新規性を見いだすことが厳しいが、今後は科学的検討とともにモニタリングの実施も含め、行政とも密な情報交換をとって、その成果の活用を図ってほしい。</p>		